

\*\*\*\*\*ここから『電子耕』\*\*\*\*\*

隔週刊「76歳が送る農業文化マガジン『電子耕』 第72号

--農業・健康・食・図書・人物情報--

2001.12.06（木）発行 西東京市・ひばりが丘 原田 勉

\*\*\*\*\*発行部数 1856部\*\*\*\*\*

<キーワード>

農林・園芸を中心として健康・食べ物・図書・人名・庶民の歴史をめぐる情報を提供し、お互いに<読者の声>のメール交換をしましょう。

---

目 次-----

<読者の声>11/22 山〇さん、こしばさん、大野さん、櫛間さん

<舌耕のネタ>「牛乳は安すぎる・狂牛病対策はエサの自給」

<菜園だより>大根のように大きくなった黄カラシナ

<山崎農業研究所>研究会・農村女性の活動（長野の報告）

<健康・図書情報>1、『長寿と健康・いのち大切に』文芸春秋増刊号

<現代農業・健康情報>2、何でも「もやし」に発芽パワーで健康！

<暑さ寒さも>11/23 「僕が10代の頃」環境クラブ

<農業・図書情報>農文協図書館常務理事に今村奈良臣氏

<農業・図書情報>農文協図書館野口弥吉文庫紹介

<私の近況報告>11月22～12月5日

-----

<読者の声>ここはメール交換の場です。編集者はコメントしない場合もありますがこれは、メールを無視したわけではなく、読者同士の交流にゆだねるという意味ですからご了承下さい。-----

<読者の声>

■11/22 山〇さん、

初めてお便りを書きます。58歳の不利一ターにして文士志望のアナクロおっさんです。毎日新聞の記事を見て、9月から読ませてもらってます。

わたしは1997年に脳梗塞で倒れ、右中大脳動脈がつまり再発の恐れありということで、いわゆるバイパス手術をしました。奇蹟としかいいようがないほど回復して、術後4年経った今年やっとPCに取り組んでいます。

そこで出会ったのが『電子耕』でした。もともとミニコミ好きでして、紙ではきつけれど電子ミニコミはいけるのじゃないかと、直送のメルマガ「そぞろ通信」を創刊しました。

いろいろ真似させてもらってます。大いに参考にさせてもらい、ご病気を抱

えながらも続けておられるのにも刺戟を受けてます。ありがとうございます。

最新号の若い人の手紙には嬉しくなり、読み進むと 1924 年生まれの方が出てこられ、また 2 嬉しくなりました。

メールを出そうと思ったのは、先週末、1924 年生まれの友人が亡くなりその人とのことを思っていたところだったからです。この人は筆名を山川肇といい、人間選書から 2 冊本を出しておられます。二十数年前からのおつきあいで、難路や岐路に立ったときいつもわたしたち夫婦を肯定してもらってきたのでした。

若い人への原田さんのコメントを読んでいるとき、この山川さんとわたしたちとのかつてのやりとりを思い出したものですから、ふっとお便りさせてもらいました。長文すみません。お大切になさってください。

メルマガ「そぞろ通信」発行人

山○平明 amanetant81@hotmail.com

●コメント：山川肇さんのことは覚えています。励まし有り難うございました。

■11/27 こしばさん：櫛間さんへ、

櫛間さんへ

静岡のオートバイメーカーで、エンジン開発に携わる技術者です。

北海道から出てきて、はや 41 歳となってしまいました。

夢のお話、拝見しました。

レーサーになりたいのですか？

それとも、8 耐で走りたいのですか？

オートバイを造りたいのですか？

それとも、オートバイメーカーに勤めたいのですか？

夢を追いかけたいのですか？

それとも、夢を語る自身に憧れるのですか？

夢をあきらめて悔しいのですか？

それとも、あきらめる理由があってホッとしているのですか？

ある一時期、熱病にかかる事があります。

もう、それしか見えない時が。  
もうオートバイの側に居るだけで幸せ。  
でも側に居るだけでは、一生を使い切れません。  
側に居て、何を出来れば満たされるのか。

好きな人が出来て、  
もうその人の側に居るだけで幸せな時があります。  
でも直ぐに、好きな人と何かをしたくなります。  
おしゃべりしたい、  
手を握りたい、  
抱きしめたい、  
キスしたい、  
セックスしたい、  
しかも朝から晩まで、一日中。  
知ってる知識の全てを試したくなるでしょう。

でもその後、何が待っていると思います？  
一緒に暮らし、何か共通の価値観で相手のためになりたくなる？  
そのためには原動力となる知恵や教養が必要となります。  
子孫を残し育てて行くとすれば尚の事。  
もしくは、飽きて別れる？  
これは簡単、何も考えずに衝動で刹那的に行動すればいい。  
次の好みを見付ければいい。

この事例と照らし合わせると、  
今の櫛間さんは何処までを予想していますか？  
女性技術者も世の中には沢山います。  
エンジニア、デザイナー、サービス、セールス etc。  
いろんな関わり方があります。  
深く突っ込むも善し、  
浅く関わるも善し。  
自分のプライドを掛ける対象にするも善し、  
自分を取り戻す手段にするも善し。

結論を出す前に自分の我を押し通して、  
行動や努力をしてみても如何でしょうか？

それとも、そんな勇気はないですか？

●コメント 11/28 転送：櫛間さんへ

櫛間さん。

ヤマハのメルトモからの助言です。答えを [tom@nazuna.com](mailto:tom@nazuna.com) に送って下さい。第72号に掲載させてください。お願いします。

■11/28 爆走天使（櫛間）さん、

おはようございます。メールをいただきました。いいですよ！私なんかでよければ。

■11/30 櫛間さんの返信（携帯電話で書かれたメールです）

私はレーサーになり、鈴鹿8耐にでたいのです。8耐だけでなく、他のレースにも。その為には、今の私では、体力面 技術面 などでも努力しなければならぬところがたくさんあります。自分自身 体格がいいため、レーサーに向け減量中です。卒業したらオートバイメーカーに勤めたかったです。ですが高卒のしかも女ではどこもやとってくれる所はありませんでした。今はとにかく仕事につかなければいけないと思い、バイクの次に好きな美容の仕事に決めました。

美容とレースを同時にやることは無謀な事かも知れませんが、夢を夢のまま終わらせたくはありません。夢は叶えるためにあるものだと思います誰にでもレーサーなんて なれる訳ないと言われました。ですが、まだ練習もバイクの免許さえ取っていないのですから、やってみない事にはわかりません。皆にどんな事を言われても、私はレーサーになるという決心があります。

恋で例えれば今の私の彼氏はバイクと言えるでしょうその愛する彼氏に今お熱なのです。実際に 元彼にお熱になった時期がありました。彼は熊本市内に住んでいて私は天草に住んでいるので遠距離恋愛でした。月に、二回ほど私が市内まで原付で通い会いにっていました。その頃は彼の為だったら、何でもしてあげたいと思っていましたから市内まで原付で、片道三時間の道程も苦にはなりません。結果的にはお互いが好きだけど別れるような結果になりましたけど。

今が丁度そういう時期なんです。でもバイクへのお熱は、一生ものだと思います。これだけは恋のように諦めたりはしません。好きならトコトン好きになり、愛し、自分の限界までやり通す、そのくらいのプライドは持っています。私の親には、まだレーサーになるという話しは、していません。当然反対する

でしょう。一応女の子でもあり、危ない事をする訳ですから。それでも私は自分の意思を押し通します。レーサーになるという事は、生半可な事ではありません。怪我はもちろんヘタをすれば命さえ落とし兼ねません。レーサーになるのですからそのくらいの覚悟はできています。これから、今思っている以上に厳しい現実を真の当たりにしていくと思います。それに立ち向かい、実現したいと思いますもう、高校生活も残り少なくなりました。これから免許を取り、基本的な練習から始めようと思います。人生 何が起こるかわかりません 山あり谷ありですから。

レーサーになろうと思ったことを後悔しないような、日々を送りたいと思います。最後になりましたが、私がバイクを好きになったのもレーサーを目指そうと思ったきっかけは、元彼がバイクが好きであり、レーサーだったからです。彼とバイクに出会った事、後悔していません。私を愛してくれたし、レーサーになるという夢をあたえてくれたからです。その彼に「ありがとう」そして、バイク 最高！

原田さんへ あまりいい 答えがだせず すみません。矛盾したところがあるかもしれませんが、今バイクに対しての思いは 精一杯書いたつもりです。

爆走天使（櫛間）

#### ■11/29 大野さん

こんにちは。大野と申します。僕は東京都渋谷区にある青山学院高等部の3年生です。今は17歳で悩み多き時期といった感じですが、僕にも持病がありまして、1型糖尿病患者です。別にそのことで悩んでいるわけではなくて、普通の高校生が悩むことを悩んだりしています。あなたの書いていることを読んでいて、いろいろ感嘆しました。つまりこれから残りの時間ときちんと向き合えるような先を僕も迎えよう、と思うことが出来ました。といってもまだ僕は先は長いのだらうと思いますが。でも本当に有難うございます。僕は来年3月にニュージーランドで有機農場の手伝いをしてみたいと思っています。もし性に合えば、これから趣味として手伝いをすることもあるでしょう。そうだとしたら、きっとあなたのおかげです。感謝いたします。原田さんはぜひしたいことを成し遂げてください。お祈りしています。

#### ●11/29 コメント：返信

大野さん。

メール有難うございました。外国に行く前に日本の有機農業も調べて見て下さい。ニュージーランドにゆかれたら日本とどう違うかをメールで教えて下さい。またメールを下さい。

---

#### <舌耕のネタ>「牛乳は安すぎる・狂牛病対策はエサの自給」

---

牛乳・卵は安すぎるというと、消費者には反発されるかも知れないが、輸入飼料に頼って乳牛・鶏を多数飼育する加工畜産が間違っている。前の号で書いたがアメリカからの輸入穀物約2,900万トンの大部分は日本の家畜のエサである。それを畜産業者によって牛・鶏の腹を通して生産され、加工流通業者がスーパーの安売り競争の目玉にする。それが現在の牛乳や卵、肉である。

それらの畜産物を喰いすぎて日本人は成人病が増えている。私も消費者の一人だが、狂牛病が出てきてつくづく日本は間違っていると思う。大量生産の能率を上げるため、安いエサを海外に求めて病気の骨肉まで粉にして牛に与えた結果が狂牛病だ。この異常は、まだまだ続くだろう。

日本の水田の3分の1は休耕させてエサ輸入している農政は間違っている。水田でもエサ米ができる。自給できるエサに見合った畜産をすれば家畜も人間も病気にはならない。アメリカの穀物輸入は止めて、家畜の糞尿を減らせば日本の河川・海などの自然を守り、日本の自給型畜産を再建しよう。

そのために消費者も協力するべきだ。いたずらに安い牛乳・卵を求めないこと。肉の消費も少なくして、米・野菜中心の日本の伝統食に立ち帰るべきだと思う。むずかしいことではない。35年まえに戻るだけだ。そうすれば成人病も医療費も少なくなるはずである。

---

#### <菜園だより>大根のように大きくなった黄カラシナ

---

9月上旬に蒔いたカラシナの種が、今は大根の葉のように大きくなって驚いている。12月に入って何度か霜も降りた。茎立ちはまだだが、葉だけ生食すると辛い辛い。茎は漬物、葉はおしたしにして頂いた。

正月用の葉ぼたんが庭に開いた。日本水仙も先ず一輪咲いた。シクラメンの頂き物は玄関に飾った。もうすぐ正月である。今日は20日号で終わりです。

---

<山崎農業研究所>研究会・農村女性の活動（長野の報告）

---

第104回定例研究会：12月14日（金）14時から17時

場所：太陽コンサルタンツ（株）3階会議室

農村・農業の現場からの報告を、長野県の二人の女性から聞く

◎農村女性の社会参画に向けての取り組み・矢島悦子（県のSP）

◎地域農業活性化と農村女性の役割・榛葉良子（松川村農業委員）

地域の元気は、女性の元気。時代の変わり目に自覚した女性の生き方を語る  
そんな仲間に入りませんか。希望者は電話03-3357-5916へ。

---

<健康・図書情報> 1、『長寿と健康・いのち大切に』文芸春秋増刊号

<http://www.bunshun.co.jp/rinzou/chouju/chouju.htm>

---

満百二歳で元気に活躍の近藤康男氏を始め、かくしゃくたる人生の達人と医療にたずさわる名医たちの「私の健康法」「生きるよろこびについて」の他113人の多彩な人の「元気に生きるヒント」を特集。

私が読んで感じたところ、食事と呼吸法がいちばん大切と思われた。「日本食は世界一の長寿食」や伝統食、小食が健康（必要なビタミン）など食と長寿の提案が多い。呼吸法は深呼吸を勧める人が多い。とくに百歳翁の医学博士の「正心調息法」には感銘した。私が付箋をつけて実行したいと思った記事は20以上もあった。これは老いも若き者にも必読の雑誌と推薦する。

発行所：「文芸春秋」12月臨時増刊号、定価1000円、発売中。

---

<現代農業・健康情報> 2、何でも「もやし」に発芽パワーで健康！

---

米国では、ガンの予防になる野菜は何かという問にたいして、「ブロッコリーもやし」と答える人が一番多いという。ガン・高血圧・肝臓病を予防する「スルフォラファン」をブロッコリーから分離成功してマスコミで大変な話題になった。この他玄米、大豆、ひまわり、そば、小豆、緑豆、金時豆、大根の種など水と簡単な容器で短期間にできる健康食が特集されている。

発行所：農文協、『現代農業』2002年1月号、定価800円送料120円

★詳しい内容紹介ページ

[http://www.ruralnet.or.jp/gn/200201/200201\\_f.htm](http://www.ruralnet.or.jp/gn/200201/200201_f.htm)

『電子耕』読者には3部限定無料進呈（住所氏名をメールで申し込み下さい）

---

<暑さ寒さも>11/23 「僕が10代の頃」環境クラブ

---

電子耕にも、10代の読者が出てきているようですね。

僕が10代の頃、「バイオテクノロジー」という言葉はまだありませんでした。ただ、「DNA」の謎を解き明かす研究の進展は著しく、高校から大学にかけて、生命倫理の本を読みふけていた記憶があります。

そのうちに、「哲学をいくら勉強しても、駄目だ」と思うようになり、大学3年になる時、「理学」と「工学」、どちらのコースを選ぶかの時期に工学の方を選びました。

卒業研究は、「工業物理化学」の講座に入りました。

ヤカンでお湯を沸かすのに15分かかるとして、縦・横・高さが2倍のヤカンを作ると、何分でお湯が沸くでしょうか？

これは簡単なようで、けっこう複雑な問いです。伝熱面積は二乗倍になるのに対して、容積は三乗倍になるので、単純計算で答えが出ない問題なのです。

「工業物理化学」と言うのは、年中、こういうことを考えている学問なわけです。

今、環境クラブで水質や酸性雨を測るキットや生ゴミを堆肥に変えるキットを開発して、一般の人達と、環境問題の接点を創ろうとしているわけですが、開発に際して、工学で教わったことも役に立っているなあと感じています。

ところで、前回まで書いてきた水道水の硝酸性窒素問題、水の味のアンケート結果は、硝酸性窒素濃度との相関ありとの結果が出ました。この結果が、環境クラブを「土との関わり」に導くことになったのです。

この辺は、次回以降、また取り上げたいと思います。



環境クラブ ホームページ

<http://www.ecoclub.co.jp/>

---

<農業・図書情報>農文協図書館常務理事に今村奈良臣氏が就任

---

11月30日の行われた農文協図書館役員会では、上期事業報告は前号に紹介されたとおりで、全会一致で承認され、個人文庫もインターネット検索ができるようになって利用者が増えたことが喜ばれた。

続く理事会で、新たに常務理事として、今村奈良臣氏（日本女子大学教授、東大名誉教授）の就任が決まった。今村氏は近藤康男先生の教え子で、良き後継者になるものと思われる。

図書館の事務責任者は原田津理事、原田勉理事は近藤康男理事長の秘書専任となることが承認された。

---

<農業・図書情報>農文協図書館野口弥吉文庫紹介

---

（野口先生は近藤康男先生と同年の生まれで102歳。東大農学部の名誉教授では2名の百歳以上の長寿者がおられるという珍しい存在である）

個人文庫：野口弥吉（のぐち やきち）1899-

略歴：1899（明治32）年9月14日、東京市神田にうまれ、府立1中、二高を経て、1924年東大農学部農学科卒。30年農学博士。33年東大助教授、37年東大教授（農学第3講座担当）。60年退官、東大名誉教授。この間35年にわたった業績は、作物育種の基礎的問題である受精生理、倍数性、作物栽培面における、カリ肥料の栄養生理、同化作用ならびに葉面散布など栄養生理、植物ホルモンの作用性など広範にわたるものであった。とくに作物栽培の基礎であると同時に作物育種の基礎的研究である作物の花芽形成、開花結実に関する研究に意を注いだ。

主な著作：

『非メンデル式作物育種法』養賢堂1941

『栽培原論』養賢堂1946

『農業技術』（福島要一共著）河出書房1948

『作物栽培』 農民教育協会 1954

『農学概論』 養賢堂 1950

『日本における高冷地農業の諸問題』 農林統計協会 1952

『改著栽培原論』 養賢堂 1954

『水田農業立地論』 養賢堂 1957

『開花の生理生態的研究』 編著 養賢堂 1960

(野口弥吉博士還暦記念事業会によるもので、「禾穀類、とくに水稻・麦類の幼穂形成および発育の生理生態学的研究」を集大成し、あわせて研究業績、著作、略歴を紹介している)。野口文庫には自著ならびに研究・著作資料281点を収蔵している。

---

<私の近況報告> 11月22～12月5日

---

◎11月22日(木)メルマガ『電子耕』の編集・発行を管理してきた「internet SOHO なずなコム」

<http://nazuna.com/>

が清瀬市から西東京市ひばりが丘2丁目アパートに移転完了。

編集長と同じ屋根の下に暮らすことになった。71号は午後の発信となった。

◎最近、最大のウイルスがはびこって多くの被害を与えている。ご注意ください。

□「WORM\_BADTRANS.B」専用対策 Web

<http://www.trendmicro.co.jp/badtrans/>

をよく読んで対策をお願いします。

その他のウイルスにもご注意を。ウイルス対策ソフトは必ず導入しましょう。

参考リンク：ワクチンバンク

<http://www.vaccinebank.or.jp/>

◎11月26日、日本尊厳死協会

<http://www.songenshi-kyokai.com/>

に加入し、正会員に登録された。「尊厳死の宣言書」は保管依頼され、いざというとき、この宣言を医師に示し、延命措置をおことわりできる。私の精神が健全な状態にある時に書いたという証明になるもの。このコピーを医師・近親者用に2通用意しておく。現在会員10万人。

◎ 1 1 月 3 0 日、農文協図書館上期役員会開かれ、事業報告、役員改選、寄付行為の改訂が行われた。詳細は前掲の通り。

◎ 1 2 月 3 日、農文協図書館に新常務理事今村奈良臣氏が表敬訪問されたが、近藤理事長はインフルエンザ予防注射したため自宅静養で不在。今村常務には、原田津理事と私が図書館の実情説明を行った。

参考リンク：今村奈良臣「忘れられない 戸隠の正月の味」

<http://www.janis.or.jp/furusato/essay/imamura.html>

-----  
— P R —

■■■■ 劇団文化座創立 6 0 周年記念第 2 弾 斎藤真一没後 1 0 年  
■■■□ 劇団文化座・サンシャイン劇場提携公演  
■■□□ 『 瞽女さ、きてくんない 』  
■□□□ 脚本／堀江安夫・演出／佐々木雄二  
□□□□ 公演日程 2 0 0 2 年 2 月 9 日（土）～ 1 7 日（日）  
□□□□ 会場 池袋サンシャイン劇場 前売開始 2 0 0 1 年 1 2 月 3 日（月）  
<http://bunkaza.com/>

----- P R -----

『電子耕』から大切なお知らせ

<http://nazuna.com/tom/10.html>

<本誌記事の無断転載を禁じます>

\*\*\*\*\*

隔週刊「76 歳が送る農業文化マガジン『電子耕』」 第 7 2 号

バックナンバー・購読申し込み/解除案内

<http://nazuna.com/tom/denshico.html>

2001.12.06（木）発行 西東京市・ひばりが丘 原田 勉

<mailto:tom@nazuna.com>

\*\*\*発行部数 1856 部 \*\*\*\*\*ここまで『電子耕』\*\*\*\*\*